

3年4ヶ月ぶり国際クルーズ船入港 ～コロナ禍も和らいで～



令和5年3月23日
奄美海上保安部



3月23日、奄美大島の名瀬港に3年4ヶ月ぶりに国際クルーズ船が入港しました。

入港したのは、セブンシーズエクスプローラ(バハマ船籍、55254ト)で14日に東京を出港し、前寄港地の長崎から10時30分に観光船バースに着岸、乗客約650人が奄美大島の美しい自然や文化を楽しみ、18時には次の寄港地の那覇に向けて出港しました。

コロナ禍も和らぎ、今後、島外からの観光客の増加が見込まれます。奄美海上保安部は、住民や来島者が安心して安全に奄美群島の豊かで美しい自然を楽しめるように、マリンレジャーなどによる海の事故防止に努めます。



セブンシーズエクスプローラ

巡視船「かいもん」

巡視船「あまぎ」